

議会だより



はこね

～改選後の議場にて～

主 な 内 容

- 9月定例会・10月臨時会…………… P 2
- 議案の審議結果(表)…………… P 3
- 正副議長・議会運営委員会委員紹介…………… P 4
- 常任委員会委員紹介…………… P 5
- 各議員紹介…………… P 6～7
- 9月定例会一般質問…………… P 8～11
- 広報広聴委員会委員紹介…………… P 12

9月定例会・10月臨時会

町議会9月定例会は、8月29日から9月4日まで、10月臨時会は、①10月3日、②10月17日、18日の会期で開催され、条例の改正や、一般質問等を行いました。

9月定例会

条例改正 3件

○箱根町地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
…可決・認定

○箱根町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
…可決

現行の条例に、下水道事業関係について、新たに盛り込む改正です。
…可決

○箱根都市計画下水道事業受益者負担に関する条例を廃止する条例の制定について
…可決

下水道事業の費用の一部を賄うために制定された条例でしたが、下水道整備着手時の特異性から、現在まで負担金については賦課をしていますが、
…可決

しかし、今後、新たに事業を着手する区域だけに賦課を行うことは不公平となるため、公平とするために廃止するものです。

補正予算

平成29年度箱根町一般会計補正予算(第2号) 原案可決

補正額 3億3,992万4,000円追加 ⇒ 補正後の総額 93億4,288万9,000円

主な内容

- 財政調整基金積立金追加…△533万9,000円
- 議会図書室整備事業…993万6,000円
- 箱根土曜塾運営事業…100万円

平成29年度箱根町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

補正額 1億5,800万8,000円追加 ⇒ 補正後の総額 20億9,100万8,000円

平成29年度箱根町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

補正額 912万1,000円追加 ⇒ 補正後の総額 3億5,022万1,000円

平成29年度箱根町介護保険特別会計補正予算(第1号)

補正額 1,412万7,000円追加 ⇒ 補正後の総額 12億7,212万7,000円

決算認定 1件

○平成28年度箱根町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
…可決・認定

工事請負契約 1件

○工事請負契約の締結について
…可決

環境センター内の清掃第1プラントの耐火材について更新が必要となったことから、株式会社「H1環境エンジニアリング」神奈川営業所と2億1,600万円を締結

人事 5件

○教育委員会委員の任命について
湯本 上野里佳 氏 …同意
(再任)

○財産区管理委員の選任
11月25日に任期満了となるため、その後任として、次の方々を選任することにについて、同意しました。

蛸川財産区管理会管理委員		仙石原財産区管理会管理委員		宮城野財産区管理会管理委員		温泉財産区管理会管理委員	
地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名
元箱根	清水 春雄	仙石原	酒寄 勝男	宮城野	勝俣 勉	宮ノ下	金子 義明
	大庭 光麿		窪澤 吉幸		勝俣 信治		上野 欽一
	安藤 道宣		鮎川 勇		勝俣 孝		勝俣 康彦
	村田 宣男		勝俣 清治		瀬戸 豊文	加藤 康夫	
	土屋 克夫		内田 良雄	小宮山 功	安藤 建		
	菅井 清登		勝俣 淳成	依元 誠二	大場 脩一		
	工藤 徳男		市川 毅	勝俣 茂	大澤 和雄		
				強 羅		大平台	
				二ノ平		底 倉	
						小涌谷	

議会議事案件 2件

○箱根町議会基本条例の一部を改正する条例の制定について
…可決
反問権の付与と広報広聴委員会を加えました。

○箱根町議会議規則の一部を改正する規則の制定について
…可決

議会議基本条例の一部改正に伴い、広報広聴委員会の明記をされたことから、規則から削除されました。

10月臨時会 ①

人事 1件

○監査委員の選任 …同意
9月29日に任期満了となった折橋尚道議員の後任として、小川鶴雄議員を監査委員に選任することに同意しました。



小川鶴雄 議員

専決処分

専決処分の承認を求めることについて (平成29年度箱根町一般会計補正予算(専決第1号)) 承認

衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行に必要な費用について、予算を補正する必要が生じたものです。

補正額 1,492万7,000円追加 ⇒ 補正後の総額 93億5,781万6,000円

10月臨時会 ②

条例改正 2件

○箱根町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
…可決

○箱根町文化財保護条例の一部を改正する条例の制定について
…付託

町内にある指定文化財以外の歴史的、文化財的価値のある建造物について、適正に保護し、より積極的な活用と、町民の文化の向上、魅力あるまちづくりを進めるために、新しく登録制度を導入するためのものですが、議場での審議では不十分なことから、教育福祉環境常任委員会に付託され、閉会中の審査となっております。



決算認定 11件

○平成28年度箱根町一般会計及び10特別会計歳入歳出決算の認定について
…付託
さらに審査が必要と認められたため、決算特別委員会を設置し付託され、閉会中の審査となっております。

協議 1件

○箱根町と神奈川県との間における公共下水道使用料の徴収事務の事務委託の変更に関する協議について
…可決

報告 1件

○財政の健全化判断比率等について

議会議事案件 1件

○広域行政調査特別委員会設置に関する決議
…可決

近隣市町との広域行政に関する諸課題について調査・研究を行うことについて決議しました。

議員別議案賛否一覧 (賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています)

Table with columns for Council Case No., Council Case Name, and Council Members (Ishida, Sakai, etc.). Row 78: Case 78, '箱根町と神奈川県との間における公共下水道使用料の徴収事務の事務委託の変更に関する協議について', Decision: '可決', Members: Sakai (x), others (o).

※：議長は採決に参加しません

議会再始動 新しい議会構成が決定！！

10月臨時会で新たに選出された正副議長・常任委員会委員をご紹介します。

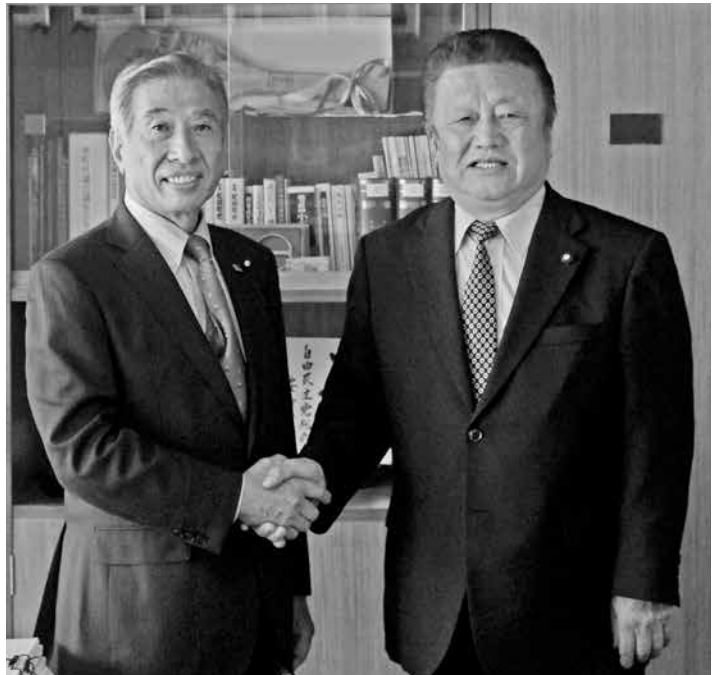
この度、10月3日の改選後の初議会において議長並びに副議長の要職に就くことになりました。現在、大涌谷園地の一部立ち入り規制が町の経済に影響を及ぼしております。

議会としても町はもとより観光関係団体等とも「オール箱根」でその対応にあたります。

そのような中、住民に最も近い町議会が、住民の福祉の向上と活力ある地域づくりを目指し、自らが知恵を絞り、自らが汗をかき、切磋琢磨した中で、自主・自立、選択と負担による自己責任のもとでの政治活動の場を構築していかなければならないと考えています。

住民に一番身近な代表として、真の地方分権への推進活動を行うとともに、箱根町の観光の健全なる発展、住民福祉の向上、教育の充実を図るため、民意に基礎を置く議会活動を行います。

そして「住民に最も頼りにされる議会」へと改革し、議員皆様とともに住民の代表としての役割を果たしますので、どうか今後とも、一層のご指導ご協力を心からお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



議長
沖津 弘幸

副議長
石川 栄

議会運営委員会



副委員長 稲葉親太郎、委員長 川端祥介、
遠藤秀則、山田成宣、川口延明、勝俣泰彦

議会運営委員会は、議会を円滑、効率的に運営するために設置されています。

議会の日程や、会期、議案、一般質問の取り扱いなどを議会招集前に協議します。

他にも議会の会議規則や、委員会に関する条例等に関する事項の調査を行い、陳情等も審査します。

任期は、常任委員会と同じ2年です。

常任委員会の新しい構成

常任委員会は、本会議の限られた時間で十分に審議し、結論を出すことが難しい議案を、担当となる常任委員会に付託できるよう、議会の予備的審査機関として設置されています。

当町では2つの常任委員会があり、議員は必ずどちらかの委員会に所属する必要があります。また、任期は2年となっています。

総務企画観光常任委員会

観光行政から消防行政まで、町の骨格をなす事柄から住民・観光客の安心安全のための施策まで、幅広い調査研究・また、チェック機能を果たす役割の委員会です。

2020年の東京オリンピックや、2021年関西圏で開催されるワールドマスターズ等、新たな観光形態でより多くのお客様の誘致をと、これから始まる新時代の箱根の観光にも十分に注視をしてみたいと考えております。

委員長 山田 成宣



委員長 山田成宣、副委員長 勝俣剛一、
稲葉親太郎、勝俣公好、沖津弘幸、小川鶴雄、川端祥介

教育福祉環境常任委員会



少子高齢化の進む中で、教育においては未来を見据え、幼保小中一貫教育での箱根教育の推進、老人を含めての福祉の問題、環境整備では観光地箱根として安心して住めるために、それぞれの多くの諸問題に委員会として誠実に前向きに取り組んでまいります。

委員長 遠藤秀則、副委員長 村野由紀子、
川口延明、折橋尚道、石川栄、勝俣泰彦、山田和江

委員長 遠藤 秀則



4
川口 延明
議員

①箱根175 ②83-6208
③無所属 ④緑風クラブ(2回)
⑤山歩き、旅行
⑥小さなことでも ひとつずつ



5
勝俣 剛一
議員

①宮城野507 ②82-4650
③無所属 ④緑風クラブ(4回)
⑤スポーツ、旅行
⑥活力あるまちづくり
住民の声に耳を傾ける



6
小川 鶴雄
議員

①湯本205-3 ②85-5811
③無所属 ④緑風クラブ(5回)
⑤盆栽、花づくり
⑥有言実行、忍耐、努力、至誠、勤労
一生懸命頑張ること、努力すること

議席番号

氏名

本人写真

①住所 ②電話番号
③党派 ④所属会派(当選回数)
⑤趣味
⑥抱負等

任期
平成29年
9月30日
)
平成33年
9月29日



8
川端 祥介
議員

①宮城野915-7 ②82-1317
③公明党 ④公明党(8回)
⑤読書、音楽鑑賞
⑥多様な価値観を受け入れ、平和と文化のまち、箱根。
多言語が行き交う、国際交流の盛んなまち、箱根。
世界のオアシス箱根の実現。




12
石川 栄
議員

①仙石原1246-742 ②84-2226
③無所属 ④至誠会(3回)
⑤花、植木
⑥住んでよし、働いてよし、環境によしの町を実現(1)町政の透明化、(2)町政への町民参加、(3)行財政改革の推進「滞納債権回収対策」、(4)観光・インバウンド客の受入れ対応の整備



13
折橋 尚道
議員

①宮ノ下310 ②82-2654
③無所属 ④至誠会(5回)
⑤園芸、スキューバダイビング、サッカー
⑥箱根がいつまでも美しく、住む人が元気で安心できる、町づくりに取り組みます。



14
沖津 弘幸
議員

①湯本698-1 ②85-6648
③無所属 ④至誠会(8回)
⑤歴史、旅行
⑥「オール箱根」もてなしを世界へ人々が住みたくなる町へスポーツ観光
住民に最も頼りにされる議会
至誠・感謝

1 **山田 和江** 議員



①宮城野310 ②82-1792
 ③日本共産党 ④無会派(9回)
 ⑤料理研究、読書、温泉地めぐり
 ⑥これからの4年間、掲げた公約実現のため「住民こそ主人公」の立場でみなさんと力を合わせ全力をつくします。観光は平和がなければ営めない産業。憲法9条を守れの声を大きく上げて議会の内外でとりくみます。

2 **勝俣 公好** 議員



①仙石原455 ②84-8328
 ③無所属 ④無会派(5回)
 ⑤ゴルフ、映画鑑賞
 ⑥箱根から元気発信
 「誠心誠意」
 住民の皆さんが幸せに暮らせる箱根を作るために、その願いを実現できる人でありたいと思います。

3 **勝俣 泰彦** 議員



①仙石原1111 ②84-8148
 ③無所属 ④至誠会(1回)
 ⑤ゴルフ、音楽鑑賞
 ⑥初心忘るべからず
 『出逢いそして今を大切に一期一会』
 あたたかい街・観光の街
 安心して暮らせる街箱根を皆様と共に創ります。

7 **村野由紀子** 議員



①仙石原359-5 ②84-4545
 ③公明党 ④公明党(4回)
 ⑤読書、書道、山歩き
 ⑥12年間の経験を活かして、女性として、母親として、生活者の立場で発言、行動し、事前豊かな箱根町を次世代に引き継ぎ守って参ります！

町民の代表14人 新議員の顔ぶれ

『皆さんの声』を 町政に反映します！

9 **山田 成宣** 議員



①元箱根110-244 ②83-5006
 ③無所属 ④至誠会(3回)
 ⑤ゴルフ、釣り
 ⑥皆様の代弁者、民意が第一の政治を。教育の充実、観光振興、伝統文化の継承以上を念頭に提言する次の町政、皆様と共に歩み続けます！！

10 **稲葉親太郎** 議員



①強羅1320-671 ②86-0222
 ③無所属 ④至誠会(3回)
 ⑤読書、魚釣り、スポーツ全般
 ⑥3期目も2期目同様に熱き思い実行へをスローガンに、山積する行政課題解決に地域の皆様と協働により箱根の未来をより良くする為、がんばります。

11 **遠藤 秀則** 議員



①宮城野918-13 ②87-6540
 ③無所属 ④至誠会(3回)
 ⑤スキー、社交ダンス
 ⑥何事にも素直であれ、良い悪いをはっきりと
 箱根の活性と少子化対策への取組、公共物の統廃合と将来を見据えての町づくり、対話と行動

9月定例会では、町政全般へ7人の議員が12項目にわたる一般質問を行いました。なお、質問者及び質問項目は、下の表のとおりです。原稿については質問議員が作成しています。なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものとなっておりますので、ご了承ください。

質問者	質問項目	ページ
川口 延明	・町の今後の財政状況の見込について ・観光税導入に対する考え方について	8
石川 栄	・芦之湯・元箱根地区における歴史的遺産について ・旧街道休憩所（甘酒茶屋隣）について	9
遠藤 秀則	・公共施設再編・整備計画について ・大涌谷園地の現状と課題について	
村野由紀子	・高齢福祉の充実について	10
川端 祥介	・住宅宿泊事業法（民泊法）について	
山田 和江	・災害対策について ・道徳教科書の採択について	11
折橋 尚道	・宮ノ下地区公共施設活用事業の進捗状況について ・箱根恵明学園の温泉幼稚園施設に関する今後の予定について	

※ **Q**は議員の質問、**A**は町側の回答です。

一 般 質 問

町の考え方を問う！



固定資産税超過課税の適用期間後のあり方について

町 — 財源確保についてあらゆる税を再度検討する

また、その期間の財政運営は、最小の経費で最大の効果をあげるべく、あらゆる方策を講じていく必要があると、財源不足の規模を考えると何らかの財源を確保しないと、財政運営が成り立たない現状がある。今後、行財政改革有識者会議での議論を踏まえ、意見を頂きながら検討し

A 仮に法定外税を導入する場合、他団体の事例を見ると、何らかの法定外税を導入するという方針決定後、制度設計や町税条例の改正の手続き、国への協議、徴税システムなど徴収体制の整備、さらに条例施行までの周知期間等で3年程度期間を要している。

Q 超過課税が平成30年度に期限を迎えるが、費用負担の観点から観光税などにより、大手事業者の負担軽減を図り、観光客からの徴収も目指したほうが良いと考えるが・・・

ていきたいと考えている。
Q 行財政改革有識者会議において、超過課税の是非について議論されているのか。

A 会議では現行の行財政改革アクションプランのこの2年間の取組状況の検証をお願いするとともに、今後の行財政改革の方向性についても議論していただき、これまでの経緯を踏まえた中でより深い議論をしていただいている。

今後は、来年度にかけて、あと5回開催を予定しており、年明け以降に、財源のあり方について議論をお願いし、この中で超過課税の是非についても意見を頂きたいと考えている。



川口 延明 議員

(芦之湯、元箱根地区歴史遺産) 箱根町施設について

町 — 観光文化遺産として継続したい



石川 栄 議員

Q 「保存整備記念館」国史跡・石仏・石塔群について国道一号線の車両が激減しており財源削減の折、冬季休館と今後の運営について伺う。

A 昭和16年国史跡指定、町を代表する文化財保存記念館であり、無料開館、管理は委託、過去3年で821万の維持費。教育委員会にて対応、冬期休館は考えていない。広報について検討したい。

Q 「東光庵」町としての今後の運営と冬期休館についての考えを伺う。

A 江戸時代熊野権現境内「薬師堂」明治時代取り壊され昭和40年史跡整備事業とし平成13年再建・町代表の歴史的遺産、芦之湯国民保養温泉地と関連して冬期も温泉観光文化遺産として継続したい。

Q 「旧街道休憩所」甘酒屋と言われ旅人休憩所として再現。現在は無料休憩所として再現。現在は無料休憩所として再現。現在は無料休憩所として再現。

Q 所で利用されているが客足も減少、従来の目的を達成していない。管理委託は甘酒屋茶屋にお願いしており建物の老朽化に伴い修繕費も町の負担となる。今後の存廃について伺う。

A 町公共施設白書で廃止解体を考えているが34年度までに施設のあり方を地域と協議したい。



石仏・石塔群

Q 財政再建を考慮。3カ所を施設事例として取り上げたが町長の所見を伺う。

A 40年間で約400億という莫大な更新費用を要するが、対応可能な限り施設削減を進め、後世に負担を残すことなく資産を引き継いでいきたい。

大涌谷園地の現状と課題について

町 — 大涌谷の安全については県と密に連携



遠藤 秀則 議員

Q 箱根の自然や歴史等を求め、多くの観光客の方々が箱根に来ている。特に大涌谷は、昨年7月26日の自然研究路を除いた区域が再開から1年が経過、かつての賑わいを取り戻し大変活気に溢れている状況である。火山ガス濃度もやや高い状況で、ロープウェイでは運休も発生し、観光客の皆様が、様々なものを取り戻し箱根観光を楽しむゴールデンルートの分断、また大涌谷の土産物店への影響など単にロープウェイだけの問題だけでなく、箱根全体の観光に悪影響を与えると考えるが、2点について伺う。

A 濃度が少し高いものの一部再開から一年が経過、この間無事故の実績を踏まえ、当初設定した各種の対応等に科学的、合理的に見直しを図り、運行基準等その他も検討・協議していく。

Q ②現在も通行止めである自然研究路の再開見通しについて伺う。

A 自然研究路については、平成14年に大雨で土砂崩れが発生し不通となっている非常時の退避シエルトの設置など、工事着上に向け各種の検討・調整を進めていく。町としては引き続き、県と密に連携していきたい。



大涌谷

高齢者の就労について、認知症の模擬訓練について

町 — 高齢者の活躍の場を増やしたい、実施に向けて取り組んでいきたい



村野由紀子 議員



Q 高齢者の就業ニーズと事業者に対しての働きかけと雇用の促進について伺う。

A 調査の結果、約3割の方が週に2日から4日仕事をしている。平成29年7月21日に締結したセブンイレブンジャパンとの地域活性化包括連携協定の中で、高齢者の雇用の促進をお願いしている。シルバー人材センターの活用と併せ高齢者の活躍の場を増やしていきたい。

Q 大阪府茨木市では、かかりつけ医がタブレット端末を利用した認知症診断ソフトの活用を始めており、認知症専門医でなくても容易に認知症診断につながる事が出来ると聞いている。町内の

A 町と調整を図り実施に向けて取り組んでいきたい。

Q 医療機関でも気軽に認知症の相談ができないか。

A 小田原医師会に情報提供し、はたらきかけをしていく。

Q 認知症の模擬訓練の実施について、進捗状況を伺う。

A 認知症の方が、徘徊しているときの対応の方法や徘徊SOSネットワークの仕組みなどを住民の方に理解していただき、県及び近隣市町と調整を図り実施に向けて取り組んでいきたい。

住宅宿泊事業法の円滑な実施について万全の対策を

町 — 指導要綱等を策定、県と連携の上、民泊開設をホームページで公表



川端 祥介 議員

Q 観光庁が主管する住宅宿泊事業法（民泊法）が、来年6月より施行される。このことを考えると、本町は世界屈指の観光地であり、民泊への関心・進出が高いものと考えられる。

A 大勢の外国人の宿泊拠点となる民泊については、近隣とのトラブル、迷惑行為が危惧されている。箱根町として民泊の開設に関しての円滑な実施について、万全の対策を講じて頂きたいが、所見を伺う。

A 国際観光地である当町としては、行政・事業者・住民全てをもって、国内外の観光客をおもてなししていかなければならない。

新たな宿泊形態である民泊も当然一員であり、民泊事業者が、地域のルールを理解し、利用者を守らせることにより、観光立町箱根が成り立つものと、考えている。

住宅宿泊事業法の施行に向けて、京都市指導要綱等を参

考に、民泊に関するルールづくりについて検討を図ってきたい。

未届けの民泊については見逃すことなく、県とも緊密に連携を図っていく。また、未届けかどうかの確認についても、現在の旅館業法により許可施設の公表と同様、届け出を出した民泊については、県のホームページで公表してもらえよう要望して、違法な民泊を見逃さずすることのないような体制の構築を図っていく。



どこでも起こりうる豪雨災害山林の手入れは

町 — 国、県などの支援も受け森林整備を着実に進めていく



山田 和江 議員

Q 災害が毎年のように発生しているのが国では、

最近も九州北部で豪雨が発生し、尊い命が奪われた。そこで、当町における災害対策について問う。山林の手入れの現状はどうか。

A 町全体の75%にあたる6,959ヘクタールの

膨大な山林に対して県の交付金を活用し、スギ、ヒノキの人工林の間伐と広葉樹の植栽をし、景観等に配慮した整備を行い、私有林では長期受託制度があり、今後とも国県などの支援も受け森林整備を着実に進めていく。

Q 避難所が最近も開設されたが避難状況や高齢者等への配慮はどのように考えているか。

A 8カ所開設し、役場には2名の避難があった。町では「箱根町災害時要援護者避難支援計画」と策定しているため、支援の必要な方に登録していただけるよう周知を

図っていく。

Q 宮城野上河原町宮住宅そばの早川は川底が石で埋まった状態で、住民は大雨の時に水かさが増して不安を抱いている。対策を講ずるべきでは。

A 県に対して、要望してきた宮城野地内の防災砂防事業の早川護岸整備に加え、危惧される堆積土砂についても河床掘削や河床整理の早期対応をお願いしていきたい。

Q 来年度から小学校で「道徳」が教科となり、「教育出版」の教科書が選定されたが見解は。

A 県に対して、要望してきた宮城野地内の防災砂防事業の早川護岸整備に加え、危惧される堆積土砂についても河床掘削や河床整理の早期対応をお願いしていきたい。

Q 来年度から小学校で「道徳」が教科となり、「教育出版」の教科書が選定されたが見解は。



宮ノ下地区公共施設活用事業について・箱根恵明学園の旧温泉幼稚園施設移設について

町 — 再配置計画は33年度までの事業完成とする



折橋 尚道 議員

Q 「公共施設マネージメント基本方針及び公共施設再配置計画」のモデル事業として、施設の再配置計画が進んでいる。計画推進にあたり、懇話会で説明された完結までのスケジュールと懇話会側の意見について伺う。

A 27年度に住民懇話会を立ち上げ、会議を開催し再編について取りまとめた。28年度に宮ノ下地区の複合施設基本構想を作成し、その上で整備する施設のイメージを作成した。施設整備は、平成33年度までに完成させるスケジュール目標としている。複合施設の概要は3階建とし、延べ床面積を計画に沿って3割削減を満たす配置案とした。懇話会側からは、「自分たちの意見が反映されていない」「この案では進めることができない」などの厳しい意見が出た。

Q 学園移設の計画は、建物の無償譲渡契約締結につづぎ土地の貸付に関する契約が締結した。地域では、「温泉地域住民と箱根恵明学園との交流協議会」が結成され、移転に関する話し合いの場が設定された。施設は、地域の文化・スポーツ関係者が利用する重要な施設でもあるので、町には施設開放について地域間格差が無いように保証していただきたい。

A 温泉地域には体育施設が他にはないという状況等も踏まえ、地域の人が負担とならないように、他の地域との格差が生じないように調整していきたい。



旧温泉幼稚園体育館

我が家の自慢

愛犬ポストンテリア「バーモ」君です。
家族みんなで癒されています。
TV番組「ポチたま」に出ました。

次号以降に掲載するペットを募集しています。

50文字以内の紹介文、飼い主の名前、可愛がっているペットの名前と住所、電話番号を明記の上、写真を郵送または下記にEメールにて議会事務局まで提出ください。(名前と地区を掲載)
web_gikai@town.hakone.kanagawa.jp
なお、写真によっては掲載不可能な場合もありますので、ご了承ください。



右) ポストンテリアのバーモ君

(宮城野 松井さん)

広報広聴委員会



委員長 稲葉親太郎、副委員長 川口延明、
勝俣剛一、折橋尚道、勝俣公好、村野由紀子

私たちは、今号から広報広聴委員になりました。

引き続き、読みやすく、分かりやすい議会だよりを目指して作成していきますので、2年間どうぞよろしくお願ひします。

委員長 稲葉親太郎

今後の議会の予定

～決算特別委員会開催日～
11月2日(木)、7日(火)、8日(水)



～12月定例会開催日(予定)～
12月5日(火)、12日(火)、15日(金)



※12月定例会会議開催日は議会運営委員会の結果により変更となる場合がありますので、議会事務局(☎85-9570)までお問い合わせください。
会議途中からの傍聴も可能ですので、是非お越しください。